

第6分科会記録

第6分科会テーマ「PTAの文化祭への関わり方について～第一中学校PTAコーラスの取り組み～」

発表校と役員

- | | | | |
|------|-------|------|-----------------|
| ・発表校 | 第一中学校 | ・助言者 | 吉澤 基先生（滋野小学校長） |
| ・発表者 | 湯浅 博文 | ・記録者 | 深井 千恵 内山 茂隆 |
| ・司会者 | 大石 唯雄 | ・世話係 | 久保田 聡先生（第六中学校長） |

1 提案の趣旨

第一中学校ではPTAも文化祭に関わりたいという願いをもち、合唱コンクールへのPTAコーラスの参加を15年前から行っている。役員中心の活動にはなりがちだが、毎年難しい曲に挑戦していく中で、子どもたちの文化祭への思いを共有し、発表の中で達成感や満足感に浸ることができている。しかしながら、発表に向けて毎年いくつかの問題を抱えているのは事実である。そんな、本校の活動を振り返りながら考察し、他校の活動の参考になればと思い提案する。

2 討議の内容（発表後、グループ別に討議し発表）

発表に対する感想

- ・PTAコーラスとはいえ、アレンジも難しい曲で人数も大勢で、演奏もすばらしく、正直驚いた。
- ・大勢の発表で、大人の声を子どもたちに届けたいという気持ちが伝わるステージでした。
- ・発表にもあるように、人数を集めるのが大変そうだがやりがいがありそう。

グループ別討議内容（自分の学校ではどんな活動をしていますか。参加の負担をどのように軽減するか。等）

第1グループ

- ① 簡単な曲にしていけば参加者は増えるのではないか。
- ② 北御牧小では合唱コンクールの見学に来た保護者も全員参加で『ふるさと』をうたっている。

第2グループ

- ① コーラスをやっていたが、人数集めに苦労して今はやっていない。
- ② 小学校は有志で音楽会のステージに上がっていた。先生方は参加せず、親だけの活動。

第3グループ

- ① 小学校、PTAコーラスの実施の可否は希望者が20名を越えないと行わないことにしている。
- ② PTAコーラスの参加者はPTAコーラス席が用意されて子どもたちの発表をよい場所で見られるようにしたら、参加者が増えた。

第4グループ

- ① 来年子どもが一中に入学する（神川・東小）が、発表を見させていただき、来年是非PTAコーラスに参加したいと思いました。
- ② 親や先生方が本気で取り組み一流を見せる姿は生徒にも大きな力を与えることができると思う。人数集めは大変だろうが、難しい曲に挑戦することには大きな価値があると思う。
- ③ 小学校のコーラス、OGが伝統的に参加する難易度の高いもの。敷居が高く参加人数も少なく苦労した。今年からOGとは切り離し簡単な曲で行うようにしていく。

3 助言者のまとめ

- (1) 15年間の継続の重みを感じる発表であった。難しい曲を発表した後の達成感や満足感を得られる貴重な活動ではあるが、難しい、大変という思いをどう軽減していくか工夫の余地はある。男性の不足は父親の会との連携などを図りながら、歌う姿を見せていくことにどうつなげていくかが課題。
- (2) PTA活動の意義
私たちの子どもとして、PTAとは地域のおじちゃんやおばちゃんが見るように広い立場で見たい。子どもたちに対して眼をかけ手をかけ声をかけながら、チームで進めてほしい。
- (3) 働き方改革は学校職員の問題だけではない。PTAのみなさんも同じです。PTAに関しては任意活動、一人一人の問題で教師だけではなく皆で考えて行かなければならないことである。